

平成21年度技術士第二次試験問題〔環境部門〕

選択科目【19-1】環境保全計画

1時30分～5時

I 次の6問題のうち2問題を選んで解答せよ。(問題ごとに答案用紙を替えて解答問題番号を明記し、それぞれ3枚以内にまとめよ。)

I-1 企業の社会的責任への関心の高まりを背景に、法令遵守に加え、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」(環境配慮促進法)等により実施されている事業活動への環境配慮の取組について、次の問いに答えよ。

- (1) 事業活動への環境配慮の取組の例を2つ挙げ、その概要を述べよ。
- (2) 事業活動への環境配慮の取組を促進してゆく際の課題と解決の方向について論ぜよ。

I-2 土壌汚染対策に関する次の問いに答えよ。

- (1) 土壌汚染対策法が平成21年4月に改正されたが、この背景と概要について述べよ。
- (2) 汚染土壌の管理手法に関して、改正法を踏まえつつオンサイトにおける対応について論ぜよ。

I-3 地球温暖化問題に対応するため、化石エネルギーへの依存からの脱却が求められている。これに関して、次の問いに答えよ。

- (1) 平成20年7月に閣議決定された「低炭素社会づくり行動計画」には温室効果ガス排出量の削減に関する目標が掲げられている。同行動計画に掲げられた世界全体での長期目標、及び我が国の長期目標、さらに長期目標を実現するための中間的な目標についてそれぞれ述べよ。
- (2) 平成20年4月に中央環境審議会地球環境部会が取りまとめ・公表した「低炭素社会づくりに向けて」では、将来の社会に関し、移動、住宅・建築物、消費者選択などの分野ごとにそのイメージが示されている。このうちいずれか1分野を選び、当該分野における行動と技術の具体的な内容をそれぞれ示しつつ、技術士として、その実現のためにどのような具体的貢献が可能か論ぜよ。

I－4 我が国の野生生物保護について次の問いに答えよ。

(1) 現在の我が国の野生生物保護の概要について述べよ。

(2) 野生生物の保護の問題点を箇条書きで3つ述べ、それらを解決するための計画手法について論ぜよ。

I－5 平成20年3月に国が策定した「循環型社会形成推進基本計画」では、「地域循環圏」の考え方が示されている。これに関して次の問いに答えよ。

(1) 循環資源を2種類取り上げて、当該循環資源に関する地域循環圏の内容を説明せよ。

(2) 上記で取り上げた循環資源のいずれか1つについて、地域循環圏を踏まえた循環社会を構築するに当たっての課題とその解決の基本的な方向性を論ぜよ。

I－6 我が国の大気環境保全に関する次の問いに答えよ。

(1) 我が国の大気環境を汚染から守るためには、国内における発生源対策を進めるだけでは不十分であると言われている。そのような考えの根拠となる事例を2つ挙げて説明せよ。

(2) 上記で言及された考えを踏まえつつ、我が国の大気環境保全のために必要な方策について論ぜよ。